

# はらかわ

No. 29

1990年(平成2年)12月



財団法人  
鹿児島市動物公園協会



## ふれあいランドにご期待を

鹿児島市平川動物公園

園長 丹下克郎

平川動物公園では秋の動物公園まつり行事の一環として、10月中の日曜・祝日に「動物にさわって遊ぼう」という催しを行いました。

この催しは、ウサギ・モルモット・ヒヨコなどの小動物や人に馴れているポニー・トカラヤギ・ヒツジなどを一堂に集め、子供たちがこれらの動物たちにさわったり、抱いたり或いは乗ったりすることによって、動物に親しみ理解と愛情を深め、豊かな情操を育てようという趣旨で開いたものです。

時を忘れ無心に動物と遊ぶ子供たち、そしてその様子を夢中になってカメラやビデオに収めるお父さんやお母さんたちで大変な賑わいを見せ、催しは大成功でした。

最近では、アパート・マンションでの動物の飼育が禁止されているところが多く、また一戸建でも隣近所との関係で動物が飼いづらくなっていることから、家庭で動物に接する機会が極めて少なく、昔は身近に見られた動物でも、テレビや絵本などで知っている程度で、実際に手でさわめることは勿論、見たことさえない子供たちがかなりいるようです。

今回の催しが、人と動物との直接のふれあいの場となったこと、さらには親子のふれあいの場にもつながったことなど動物園の一つの目的である社会教育の場として、少しでも貢献でき主催者として大変嬉しく思いました。

さて、現在、園内の象舎の後方に建設を進めている「ふれあいランド」は、プレーリードッグやミーアキャット・ペンギン・リスなどをたくさん集めたかわいい動物たちの楽園で、皆さんに動物を身近に見てもらい親しんでいただくためのゾーンです。その中には、子供たちが直接小動物に触れて遊べるコーナーもあり、まさに前述の「動物にさわって遊ぼう」が常時すばらしい施設の中で楽しめるというわけです。施設の詳細については、本号の中でご紹介しておりますので、ここでは省略いたしますが、これが完成しますと子供から大人まで楽しく過せる場所になるものと思います。来年の春にはオープンの手配ですので、皆さんのご来園を心からお待ちしております。

### ◀表紙

#### シロサイ White Rhinoceros

奇蹄目 サイ科

中央・南アフリカに分布  
体長 360~500cm 肩高160~200cm 体重 2300~3600kg。陸上ではゾウについて大きい動物。角は2本あり、前の角は長く、平均60cmあり、長いものでは158cmという記録もある。草原や低い木の生えた所につがいが、3~4頭の家族で生活。昼間は日陰で休息し、涼しい明け方や、夕方に、おもに草や低い灌木を食べる。

### ▼行事

1991年1月2日~1月3日 お正月お年玉大会  
3月中旬~4月末日 春の動物公園まつり  
5月3日~5月5日 こどもの日まつり

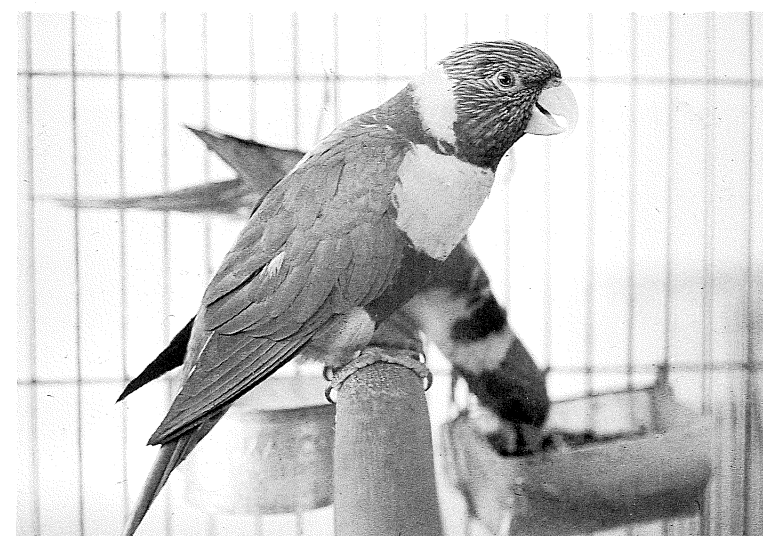
### ▼飼育動物数 (1990年10月現在)

ほ乳類	78種	415点
鳥類	78種	602点
は虫類	7種	9点
計	163種	1,026点

## 姉妹都市 オーストラリアの パース市から動物親善使節



モモイロインコ (現地名 ガラー)



アカエリゴシキインコ (現地名 ロリキート)

平成2年2月8日、鹿児島市制100周年記念としてパース市からモモイロインコ4羽、アカエリゴシキインコ2羽が贈られた。いずれもオーストラリアだけに生息する珍鳥で、日本ではモモイロインコ3羽いるほか飼育例はない。



# 動物公園ニュース

## — 動物の赤ちゃん —



シロクマの赤ちゃん (元・11・10生 生後29日目)

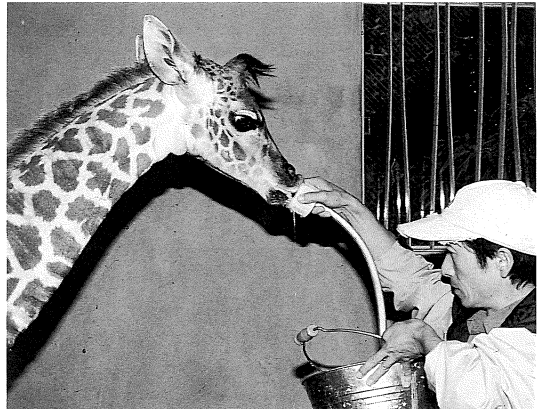
約3ヶ月生存しましたが、2年2月6日、残念ながら死亡しました。  
3ヶ月生存は西日本では初めての記録です。



ワオキツネザルの双子の赤ちゃん (2・2・24生)



ベネットワラビーの赤ちゃん(2・1・生)  
ほか4頭生まれています。



キリンの「カエデ」ちゃんの人工哺乳  
(2・10・18生)

## — 野生動物の保護 —

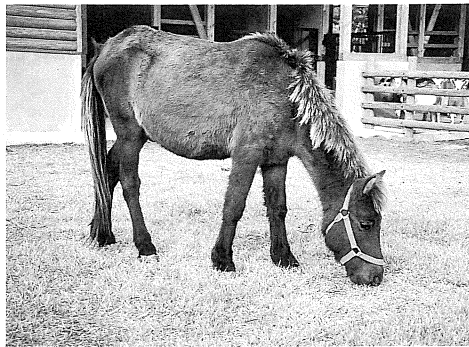


ヨ タ カ (2・10・11)

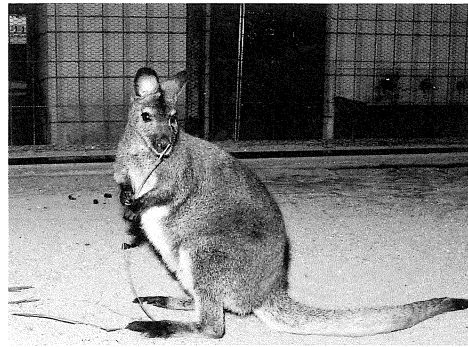


ム サ サ ビ (2・9・22)

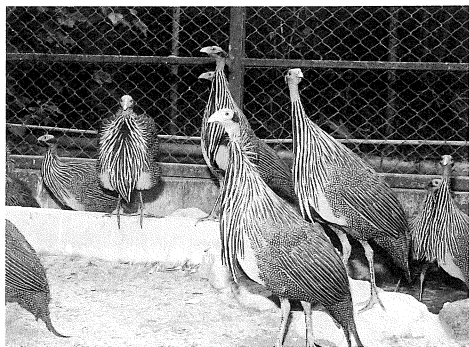
・新らしく仲間入り・



トカラウマ(オス) (2・10・18) 購入  
(メス)は神戸市王子動物園から寄贈  
(2・10・25)



ベネットワラビー10頭(元・12・16)購入



フサホロホロチョウ20羽 (2・10・17)  
購入



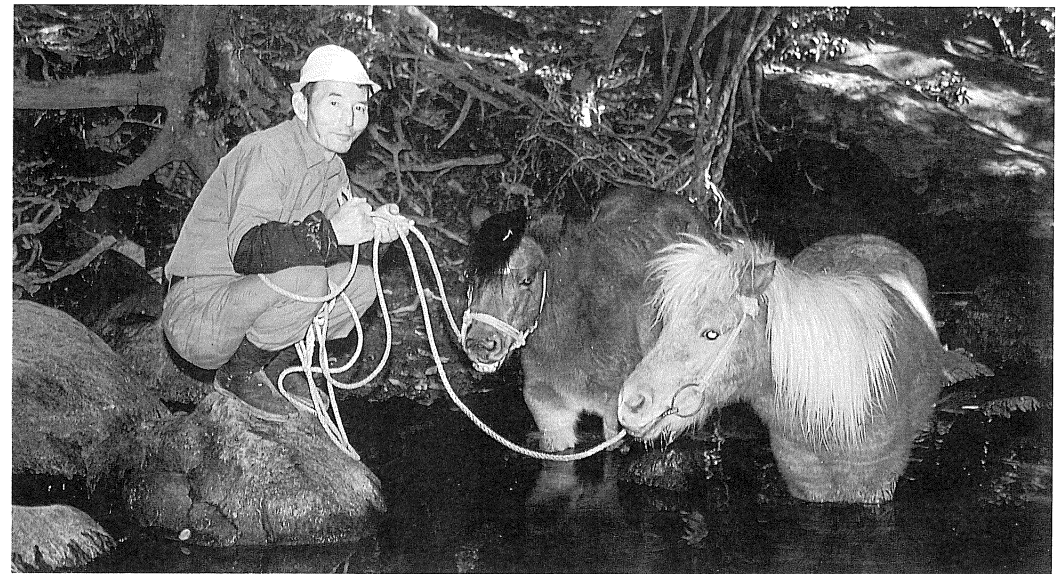
ホオカザリヅル3羽 (2・10・22)  
多摩動物公園から寄贈

・新らしくなった遊園地施設・



飛行塔が新らしくなりました。  
4人乗 8機  
平成2年4月から運転を  
はじめました。)

ハイ！担当は私です



▲ ミゼットポニー

ラマ、アルパカ、マゲシカ、キュウシュウジカ、ミゼットポニーなどを担当しています。

若いころ馬を飼っていたので馬が特に好きで、天気の良い日はポニーを園内の川に連れて行き水浴びをさせたり、蹄の手入れをします。

日曜日や祝日など人の多い日は、チビッコたちをポニーに乗せたり、記念写真を撮らせたりしてサービスに努めています。

ポニーを連れてくる姿を見かけたら声をかけてください。

技師 木元幸男

・サツマイモのプレゼント・



知覧町霜出部落竹の子供会の皆さん  
(2・10・21)



有明町原田小6年生の皆さん  
(2・10・26)





◀ 野鳥観察会 (平2・3・18)

今年で8回目、約40名の親子連れが参加しました。  
日本野鳥の会の指導で、バードウォッチングを楽しみました。  
27種類の鳥を観察。

わくわく動物ガイド▶  
(平2・4 春の動物公園まつり)

たくさんのお友達が参加して、動物の勉強をしました。



▲ 動物と記念写真を撮ろう  
(平2・5 こどもまつり)

ふれあいランドでかわいい動物たちとハイポーズ

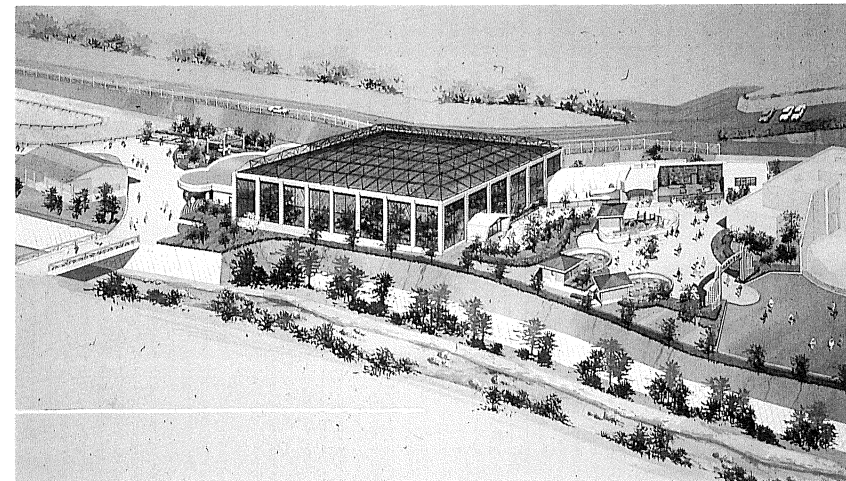


▲ 動物にさわって遊ぼう  
(平2・10 秋の動物公園まつり)

## 「ふれあいランド」の新設について

主 幹 酒 匂 猛

(飼育係長事務取扱)



### はじめに

動物公園を訪れた子供たちやサマースクールに参加した小学生たちに「どんな動物園であってほしいですか」と質問してみると、「動物と遊べる広場がほしい」とか「動物にもっとさわれる動物園を」という意見が圧倒的に多く聞かれます。

昔はゾウ、ライオン、キリンなど大型の動物や珍しい動物に人気がありましたが、最近の子供たちはリスやハムスター、ペンギンなど小さくて可愛い動物やポニーとかヒツジなどさわれる動物に大変魅力を感じているようです。

これは、かねて動物と接する機会のない子

供たちの「動物と仲良くなりたい」という強い願いの現れではないかと思われます。

当園では、これらの子供たちの願いを少しでも実現したいということから、従来あった子供動物園を大幅に改造し、新しく「ふれあいランド」を建設することになりました。

建設は1989年度と1990年度の2カ年に渡って進められており、完成は1991年3月の予定であります。

「ふれあいランド」の概要は次のとおりです。

### 目 的

「ふれあいランド」は子供動物園の施設の

老朽化にともない再整備を行うことと、子供動物園のもつ意味を再確認、継承し、動物を可愛がる気持ち、自然科学に対する愛好心を養い、子供たちが動物に乗る、さわる、抱く等の直接体験を通して、動物への関心や理解を深める場を設ける目的を持っています。

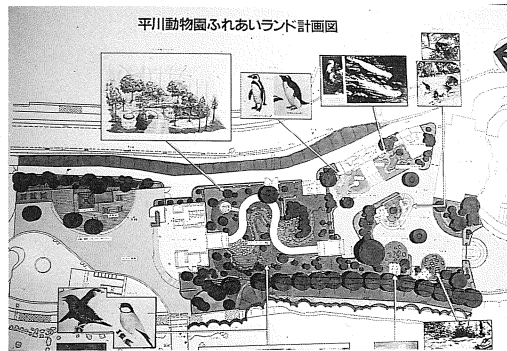
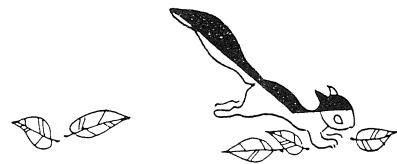
## 位置及び敷地面積

園の北東、五位野川の東側に位置し、元子供動物園の位置したところで総面積は 約5,500㎡であります。

## 基本方針

- (1) 子供たちに良く知られた可愛い動物を、開放的な明るい飼育場で展示する。
- (2) 動物はできるだけ群れで飼育し、生態的な行動の観察ができるようにする。
- (3) 牛、馬、羊、山羊など現在はほとんど見られなくなった家畜を集めたミニ牧場をつくる。
- (4) 子供たちと動物がふれやすい場とする。
  - \* 動物に乗る、触る、抱く、餌を与える動物を交えてゲームをする等の行為が行える場をつくとともに、容易に体験できるように考慮する。
  - \* 動物を可愛がる気持ち、自然科学に愛好心を持つような場とする。
- (5) 四季の変化が感じられるような空間をつくる。

- \* 花木等をなるべく多く植栽し、四季の変化を感じられるようにする。



## 各ゾーンについて

次に「ふれあいランド」はいくつかのゾーンに分かれておりますが、各ゾーンについて説明いたします。

### (1) エントランスゾーン (入口)

ミーアキャット、プレーリードッグ、アライグマなど可愛い動物を開放的な放飼場で飼育し、観覧者のスムーズな導入を図る場所です。

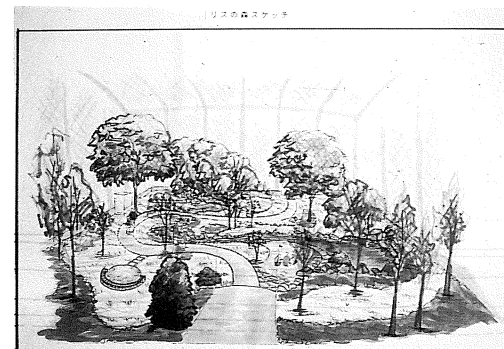
### (2) ペンギン、カワウソ舎

エントランスゾーンの続きで、ペンギン、カワウソを屋外展示し、水中で泳ぐ様子も観察もできるよう強化ガラスを用いた池がつけられます。

ペンギン舎(約87㎡)では、フンボルトペンギンやマカロニペンギン、イワトビペンギンを飼育する予定です。

なお、ペンギン池は九州で初めての試みとしてオゾン発生装置による水の浄化装置が備わっております。これにより水の透明度を良い状態に長く保つことが出来ますので、ペンギンの泳ぐ姿がより鮮明に見ることが出来ると思います。

カワウソ舎(約87㎡)には単独性の強いカワウソの中では小群でも行動するコツメカワウソを飼育する予定です。なおカワウソは動物には珍しく大人になっても遊びの好きな動物ですので、活発に遊ぶ姿が見られるものと思います。



### (3) リスの森ゾーン

観覧者が通り抜けするケージで、小動

物にさわったり、餌をやったりできるようにする予定です。

この中には滝、流れ、池を設け、植栽により森をイメージするような空間をつくり、リス・ムササビ・リスザル等の樹上生活を観察したり、中型のインコ類を飛ばし、地上にはベネットワラビーなど人に馴れやすい動物を放し飼いにする予定です。

このケージは放飼場の部分の広さが約768㎡で、高さは約12.5mにもなる大きな放し飼いケージであります。



### (4) 休憩ゾーン

リスの森のケージに併設されており、トイレ、売店、テーブルなど休憩施設が設けられています。

### (5) タッチングコーナー

ウサギ・カメ・モルモット・ハトなど、おとなしい動物がおり、抱いたりさわったり出来る場所です。

1989年度に完成し、今年のゴールデンウィークの3日間に一時開放しましたところ、大変人気がありました。

小学校や幼稚園、保育園など団体の利用により、教育的効果が高められるものと思います。



#### (6) ミニ牧場

ミニ牧場はヒツジ・トカラヤギ・トカラウマ・ロバ・ポニー等家畜を飼育し、さわったり、餌をやったり、乗馬が出来るようになっています。

1989年度完成、今年のゴールデンウィークの3日間に一時開放しました。

#### (7) 管理ゾーン

管理事務所、飼料庫、その他、動物をスムーズに管理できるような施設を設けています。

#### (8) バッファゾーン (緩衝地帯)

四季の変化が感じられるような花木等をなるべく多く植栽する予定です。

以上が「ふれあいランド」の大体の概要ですが、完成しますと動物園における教育の場としての機能を発揮するとともに、子供から大人まで家族で楽しんでいただける場になるものと思います。

## コアラファミリー ただ今 15匹

当園のコアラはオス5匹メス7匹それに平成2年に3匹の赤ちゃんが生まれ、全部で15匹となりました。

10月末から、天気の良い日は日光浴をかねて、屋外飼育場に出しておられます。

ゆくゆくはお客様に、コアラを抱いてもらいたいという夢をもっています。



日なたぼっこのコアラたち  
(1990・11・7)

## 平川動物公園のあゆみ

(開園から10周年まで)

川 畑 純 徳

#### ▲開園当時

昭和47年10月14日、開園式が終ったあと午後2時から一般に無料開放された。鴨池動物園の約10倍の面積をもち、ほとんどの動物が放し飼いにされ、土地の高低や水を利用して、自然のままの動物が見られるようになった動物公園の誕生は、市民に大きな期待をもたれ大変な人出となった。繰り出したマイカーがたちまち国道をマヒ状態にした。初日の1日だけで約4万人の人出で、広い園内も人の波で埋り、予想以上の人気を呼んだ。翌15日から有料となり、おとな 100円・小中学生50円・幼児は無料。当時は産業道路もなく指宿方面に行く車もこの国道225号線に乗り入れていたので、土・日曜日になると平川動物公園へ向かうマイカーと指宿方面への行楽客が一緒になって、動物公園入口から市内の笹貴付近までの延々10キロにわたる渋滞をおこしていた。動物公園では交通対策に追われる毎日で、新聞広告を出しバス・鉄道・タクシーなどの交通機関の利用を呼びかけた。10月末ごろから観客の協力もあってひどい渋滞はなくなった。開園当日はまだ整備中であつた遊園地もこのころにはすっかり完成、モノレール・ティーカップ・メリーゴーランドにチビっ子たちがわんざとおしかけた。一方開園直前まで、ケヤキの大木の植え込みなどが続いたアフリカ園では、芝が定着していないためキリンだけが目見えして、クロサイ・シマウマなどは補助運動場でみもらった。草原の景観を保つためには芝生の養生はどうしても欠かせないので、開園後も長い期間シマウマは出さず、他の動物も夜間は必ず寝室に入れるよう訓練。さらに乾燥に備えてアフリカ園の数ヶ所にスプリングラーを設置して芝生の定着に努めた。

開園と同時にたくさんの出店が駐車場周辺に出現したため、動物公園側では自然の景観をまもるため、売店のある民有地との境界に柵を設けたり、木を植え込んで店の姿をかくすなどした。そのため出店側といろいろとトラブルがあつたが、入園客が落ち着いてきた48年初めごろには出店は次第に姿を消している。

#### ▲外国人のみた開園当時の動物公園

開園して3日目の10月16日午後、ひょっこり西ドイツのキール大学家畜研究所長ウォルフ・ヘレ博士が平川動物公園を訪れている。同博士は帰国後、西ドイツのケルン動物園の雑誌に「日本の動物園一印象」と題する記事を寄せ、当園を紹介している。その抄訳は次のとおり。「更に足をのばして鹿児島に参りますと、ちょうど3日前、1972年10月14日にオープンした広大な新しい動物園があります。広い大規模な入口の門をぬけると、アフリカ平原の



47. 12 アフリカ園まえ  
動物公園建設プロジェクトチーム



ケルン動物園雑誌  
(西ドイツ)

動物のための広い施設が目に入ります。その向うには弓形  
の海  
鹿  
児  
島  
湾  
が  
見  
え  
ま  
す  
。それから活火山桜島の山頂に魅せられま  
す。桜島は白い蒸気の雲が吹き出されているのが普通ですが、  
この頃は灰茶色の灰がまじっていました。この雲は大へん高い  
ところまで噴き上げ、軽い灰の雨を降らせます。次の日はなお  
強くなっていました。ポンペイのように見えました。

鹿児島動物園は新しく開園したもので、総合的印象が少し  
混濁しました。というのはどこでも、はじめたばかりのしるし  
ばかりが目についたからです。しかしながら植物の状態は、す  
でに記録するに足る立派さでした。私には小さな竹の景色とそ

の固有の緑が気に入りました。キリン・シマウマ・サイ・ダチョウのような草原の動物のため  
の近代的獣舎は上品で、猛獣舎は余り大きくありませんが、広い運動場がついており、こ  
ぎれいな小獣舎と最新式の猿の施設は、多くの動物の智識を仲介とするものです。非常に広  
くて高い禽舎を見物客は通りぬけることが出来、渉禽や鳴禽にも身近に接することができま  
す。それから類人猿舎に達します。中には堂々たる住人がいて、近代建築の放養場に行くこ  
ともできます。



Abb. 10 Zoo Kagoshima Hauptingang  
Zoo Kagoshima, Main entrance

一つの島にはチンパンジーが体操をしており、テナガザ  
ルがぶらんこをしています。水面にうつる彼らのかげは印  
象を高めます。

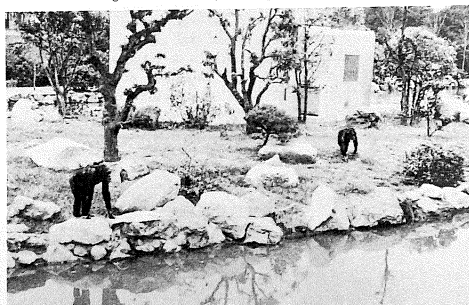
シカの施設では、日本特産の動物ニホンジカが中心的な  
地位を占めています。カンガルー・イノシシ・ゾウ・クマ  
・ワニおよび多彩な鳥の世界は、コレクションとして、よ  
り大きなヨーロッパの動物園と全く対応するものです。

日本の造園の特色を打出した施設は、この動物園の大きな  
特徴となっています。動物園内で魅力のあるものとしては

こども動物園が役立っています。注目に値する  
家禽や、他の種の家畜、それに小さい野生動物を  
含むすぐれたコレクションです。……………」

記事と一緒に「チンパンジーの島」(現在のワ

Abb. 9 Zoo Kagoshima, Schimpanseninsel  
Zoo Kagoshima, Island for chimpanzees



オキツ  
ネザル  
の島)・  
「類人  
猿舎」・

「メインゲート」の3枚の写真が掲載されている。

平川動物公園の印象がよかったと推察される。

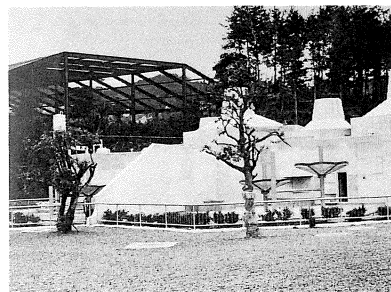


Abb. 8 Der neue Zoologische Garten von Kagoshima, Prima-  
tenhaus  
The new Zoological Garden of Kagoshima, House for  
primates

### ▲新しい組織

平川動物公園は都市計画部に所属し、動物公園の建設が進められた。山口哲夫都市計画  
部長が平川動物公園長事務取扱いとして、昭和47年10月31日まで在任した。11月1日、池  
松良雄(当時県教育委員長)が平川動物公園長(非常勤)に就任。次長制をとる。

次長のもとに一般事務(3名)と造園整備(5名)を担当する管理係。動物の飼育管理  
(21名うち獣医師3名)を担当する飼育係の2係が設けられた。職員数30名の体制となる。  
移転を機に、職員による宿直の廃止、年末3日間の休園日を新しく設け、業務の委託な  
ど制度の改革を行なっている。

### ▲動物公園協会の設立

昭和37年以來の市議会で管理運営のあり方について全国の動物園協会の例を参考に検討  
するよう要望が出されていた。鴨池動物園時代にも検討されたこともあったが、当時園内  
外にあった個人売店とのからみで協会設立までに至らなかった。平川への移転を前にして  
昭和47年3月、鴨池の園内売店(4)と正門前の売店(22)に対して「新動物園内の売店  
は市直営にする」との方針を明らかにした。新動物公園での営業を希望する売店側と市当  
局との話がまとまるまでには、紆余曲折があったが48年には殆どどの売店が交渉に応じて  
鴨池を立ちのいている。しかし正門前にあった売店の3名は、話し合いにこたえず、園外売  
店に居すわり昭和57年になってようやく10年振りの解決をみている。これで動物公園とい  
う公共施設内の個人の営業行為が全て解消したことは今日の協会の基礎づくりにとって誠  
に喜ばしいことであった。

これよりまえ開園にそなえて、昭和47年9月8日、動物公園協会設立許可申請を県に提出  
し、同30日に設立許可がおりている。9月30日、役員を選任して発足。理事長(市長)、  
副理事長(助役)、常務理事(市出向)、理事(役所幹部・学識経験者・ジャーナリスト  
代表・観光関係者など)を選任している。発足時は、理事18名、監時2名、職員42名。

10月12日、財団法人設立登記申請書を鹿児島地方法務局に提出し、10月30日受理されて  
いる。開園と同時に直営事業(園内売店及び食堂など)と市からの委託事業(使用料の徴  
収事務・入園券の売改札・遊具施設の運営・駐車場の管理・清掃・夜警)を開始している。

### ▲10年間のできごとと国際交流

開園当初、放養式のため広々としていて動物の数が少ないという声があり、動物の数を  
ふやす必要に迫られた。限られた予算で対応するため、出水市において、有害鳥獣駆除の  
目的で捕獲して食用に供されていたカモを平川動物公園の展示用として生かしたまゝで輸  
送することにした。マガモ・ヒドリガモ・カルガモなど多数を再三にわたって引取り、園  
内の池に放って充実につとめた。この池には後年、野生のカモが冬季飛来してくるよう  
になっている。

47年県の10大ニュースの8番目に「鹿児島市平川に新動物園」が選ばれている。開園の年  
は、太陽国体・新空港(溝辺)のオープン・国鉄の大隅線の開通などニュースが多かった。  
47年12月(財)鹿児島市動物園協会の第2回理事会の席上、平川動物公園で飼育されてい



るソデグロヅル1羽が話題にのぼっている。このソデグロヅルは昭和44年11月沖縄で捕獲鴨池動物園で保護されていたもので、日本で1羽、世界の動物園でも総数11羽しかいない貴重なツルであった。鹿児島だけでなく、全国の人にも、このツルの存在を知ってもらうため、切手の図案にして欲しいと、48年1月に郵政省に陳情している。残念ながら切手の採用は見送られた。

3月3日、鹿児島県教育委員会から博物館相当施設として指定をうける。

昭和48年はじめ頃、西オーストラリア州の観光労働大臣らの来園があり、パース市との友好の機運がもり上っていた。5月28日には動物親善使節として鹿児島市から、ニホンザル4頭（オス1・メス3）が海路はるばるオーストラリアに渡り、一方7月31日には、パース市から灰色カンガルー4頭（オス1・メス3）が空路到着して盛んな歓迎を受けた。

オーストラリアの動物交換には、最初サツマドリを送ることにしていたが、鳥類の輸入は一切だめということでニホンザルに代った。

オーストラリアの検疫上の問題で、飛行機の輸送を拒否されたニホンザルは20日間の船旅ののち、無事パース市到着。同市長らが出席して歓迎式が催され、パース市と鹿児島市の姉妹都市盟約の先鞭をつける役割を果たしている。

8月13日、佐世保市の石岳動植物園から、オラン・ウータンのモンちゃん（5才）が、平川動物公園のピック君（9才）のところへお嫁入りしてオリごしに初対面した。モンちゃんは2年前に佐世保の動物園に入園した“密輸品”。3年前に船員がこっそり日本に持ち込み、佐世保に置き去りにされるなど不幸の数々。船員の行方がわからず、やっと時効成立。長崎税関佐世保支署の許しを得て鹿児島に嫁ぐことになった。

8月27日 池松良雄園長が逝去。

10月1日 坂元種夫（元県教育次長）が園長（非常勤）に就任。

10月1日 チンパンジーの太郎・陽子が演芸ショーにデビュー。チビッ子たちのかっさいをあびる。前年10月の開園時にはるばるアフリカから到着、1年間にわたる特訓を受けた太郎と陽子は担当の久永利雄技師のカゴツマ弁の指示に従って竹馬乗り、三輪車乗り、鉄棒の大車輪などを披露した。このショーは毎日、午前11時と午後2時の2回行われ、その後長い間、動物公園の人気者となった。

10月13日 動物公園協会が雑誌「ひらかわ」No1を発行。写真を主体とした編集方針をたて、本号でNo29となる。

10月14日 開園1周年を迎える。開園当時、148種、822点の動物が、163種、1,183点と充実。記念行事として、1日園長2名（小学生の女子と中学生の男子）を任命。記念植樹（クス2本）。クログネモチ 1,000本と花の種 1,000袋をプレゼント。旧鴨池動物園の写



ソ  
デ  
グ  
ロ  
ヅ  
ル

真展（昭和初期からの写真30枚）などが催された。

11月～12月 クロヒョウ・ブレリードッグ・カケイ・トムソンガゼル・ミミナガヤギが新着。

11月24日 動物公園協会の寄付第1号として、キリン（巻番）280万円とライオン（1頭）40万円が仲間入りした。開園してまもなく急死したキリンの補充として購入、キリン1頭だけのアフリカ園が活気をおびてアフリカ草原らしい景観をとりもどす。

48年12月 ペルー国を訪問した、園田光徳市会議員を介して、リマ市の国立動物園からピクーナ・アルパカ・ラマ・ボアをプレゼントしたい。先方は同園内の放送施設が欲しいという話が伝えられた。12月末、リマ市長・国立動物園長あて依頼の文書を発送。49年1月末に返信があり、「動物のプレゼントは日本・ペルー両国の友好のためいいことであり国会でもスムーズに承認された。

アルパカ・ラマを贈る。友好を深めるためにも、鹿児島市からペルー訪問をお願いする……。」という内容。これを受けて動物公園側の準備が始まる。

49年1月1日 園内にこども動物図書館が開館。その後毎年こども向けの動物図書が動物公園協会から寄贈され今日に至っている。

4月22日 鹿児島市との姉妹都市盟約式に出席のため来鹿したパース市からの親善使節団、アーネスト・リー・スティヤー市長夫妻ら20人が動物公園を訪れ、パース市が贈った4頭のカンガルーと再会。

4月27日 SL（C57型）が鹿児島鉄道管理局から無料で貸与され、譲与式が行われた。49年度中に九州からはすべて姿を消したSLを、いつまでもチビッ子たちに見てもらおうと動物公園に展示することになった。はじめは、メインゲートのまえに置くという話があったが、結局遊園地の一角に落着いている。

5月8日、有料入園者百万人目を記録した。

6月からリスザル14頭を園内に放し飼いにする。お客にエサを手渡しでもらったりして喜ばれた。また、コンゴウインコ5羽も放し飼いにして園内を飛ばせる。同月には、オオ



園内をとぶ ルリコンゴウインコ

ミミギツネ・パタスモンキーが、7月にはダイアナモンキーが新着。7月には鹿児島ではじめてシマウマの赤ちゃんも誕生。

さきにペルーからアルパカ・ラマの寄贈の話があって以来8月ごろまで、動物検疫、輸送手段について各方面に折衝を繰り返したが、なかなかうまくいかなかった。8月になってペルー側の招請にこたえて、山口助役と園田

市議はペルー国を表敬訪問し、動物寄贈問題について輸送体制など話し合ったが、ラマ・アルパカは検疫や輸送する船の問題が解決せず、代りに次の動物の寄贈を受けて、9月6日羽田着で帰国。アメリカバク（2）カピバラ（3）リスザル（4）トキイロコンドル（1）

コンゴインコ(4) 5種14点。

49年10月1日現在、飼育動物は175種1,143点を数える。

12月29日 沖縄市の「こどものくに」へ、シマウマ(2)を贈る。沖縄のこどもたちにお年玉代りにプレゼントされ、隣県の友好を深めた。

50年1月 シュバシュコウ。3月、ワオキツネザルが仲間入り。5月にはセイケイ(49年生)が日本動物園水族館協会から繁殖賞を受賞している。

48年以来続けられていた、ラマ・アルパカの輸入は思うように進まず、ペルー国在住の吉元美氏(ペルーの邦字新聞経営)がペルー側との交渉にあたっていたので、再三にわたって夜遅く、先方の明け方をねらって国際電話による打合せを行った。ペルーへの電話はスペインで中継していて聞き取りにくいことなどあって随分と気をもんだ。また運搬を依頼した船会社はあらゆるルートを通じて折衝したが、いずれも失敗に終り、輸入を断念というところまで追込まれることもしばしばあった。

昭和50年12月12日、川崎汽船株式会社から51年1月上旬出港予定のペルー国営船「バレホ」に積み込むことが決定の連絡が入り、実に2年越しの懸案が解決した。輸送中のラマ・アルパカの世話のためペルー国立動物園の獣医師が乗船の予定であったが、出発近くになって真夏のペルーから真冬の日本へくる動物の影響を心配して乗船を拒否。急きょ動物公園の梶原純一獣医師をペルーに派遣。同獣医は、ペルーへ51年1月12日到着して15日出発するという短い日程で、交渉・依頼・航海中の必需品の購入、船上のラマ・アルパカの収容施設づくりなどを済ませて乗船、同年2月10日ラマ(2)、アルパカ(4)と一緒に名古屋港に到着している。「バレホ」は鉱石運搬船で福島県小名浜港で積荷を荷揚げする予定であったが、動物検疫所が指定した名古屋港をファーストポートにするという条件があったため、川崎汽船株式会社に頼みこんで名古屋に回送してもらった。この回送料が210万円、ラマ・アルパカの輸送は運賃規定がなくとも無料、付添いの梶原獣医師の運賃も無料、船内の食卓料の支払いだけで終わっている。名古屋動物検疫所で1ヶ月にわたる検疫を終了し、3月14日動物公園に到着。3月15日、市役所玄関前で、消防音楽隊・小学生、

多数の市民に迎えられ、盛大な歓迎式が行われた。

ペルー国の動物寄贈の責任者、ポルトカレロ公園局長は鹿児島市からのお礼について希望を聞いたところ、勲章が欲しいというのには、市側もいささかとまどった。検討の結果和文とスペイン文を併記した感謝状を贈呈することにし、7月26日、ポルトカレロ局長と吉元美氏にそれぞれ感謝状が贈呈された。



ラマ・アルパカ 市中パレード

51年は動物の誕生が相次いでいる。5月、ペンギン・シマウマ・ダチョウ。6月、エミウ・ワオキツネザル・ムラサキサギ。8月、クロヒョウ。9月、キリン(鹿児島で初めて)。

11月、カンムリバト・ミミナガヤギ・オオカンガルー。また5月には昨年生れのヘラサギが日本動物園水族館から繁殖賞を受けている。11月末日現在の飼育動物数 175種 1,202点。

10月11日、有料入園者 200万人を突破。

52年1月24日 平川動物公園のシンボルマークが決まる。前年の秋の動物公園まつりで募集したもので、大阪市東住吉区西今川町主婦、国賀恵美子さんの作品。

4月1日 入園料が改定され、大人 200円に値上げされたが、小・中学生50円は据え置かれる。

7月25日 ペルーから贈られたカピバラに3つ子の赤ちゃんが誕生。翌年の5月、日本動物園水族館協会から繁殖賞を受賞。



10月17日 日本に1羽しかいないソデグロヅルが“国際結婚”のため、空路アメリカ・ウィスコンシン州バラボーの国際ツル財団に出発。ソデグロヅルは野生でも300羽程度(1985年、中国で1350羽観察)しか確認されていない。この滅びいく珍鳥は平川、西ドイツなど世界中の8ヶ所の動物園でしか飼育されておらず、同財団は各国に散在しているソデグロヅルを一ヶ所に集め、人工繁殖する計画をたてた。同財団の理事長、アーチボルド博士は鴨池に1回、平川に1回訪ねて借り入れを申し込んでいた。同財団の繁殖センターがこれまでナベヅルやタンチョウヅルの繁殖に成功している実績などを考慮して、種の保存の立場から平川動物公園も貸与することにした。

鹿児島からのソデグロヅルは「ヒラカワ」の愛称で呼ばれ、翌年5月には5個の卵を産んでいる。その後毎年産卵はあるがフ化に至らず、試行錯誤ののち、昭和56年6月4日、ソデグロヅルのヒナの第1子が誕生した。

52年秋の動物公園まつり(10月14日~11月27日)の期間中、小・中学生を対象に動物人気投票を実施している。1位、キリン 1,030票。2位、ゾウ 386票。3位、ゴリラ 324票。4位、トラ 288票。5位、シロクマ 268票。

11月9日~11日 全国の動物園、水族館関係者が動物の繁殖や疾病などの研究発表を行う「第25回獣医並びに飼育技術者研究会」がサンロイヤルホテルを主会場に開かれた。全国から約60名の参加があり、活発な発表・意見交換が行われた。

52年12月20日 パース市の広報担当官エルス・グッド夫妻が市役所を訪れ、山之口市長にコアラのエサになるユーカリの種子(4種類)をプレゼントした。市民団体「コアラを鹿児島に連れてくる会」(梶原純一会長)が同年10月、パース市を訪問した山之口市長らに対し、コアラの食べるユーカリの種子が入手できるよう要望していた。この種子は県林業試験場(蒲生町)に頼んで育苗。生育したユーカリの苗約4,000本は、動物公園西側の山腹に植え込まれた。

同12月 遊園地に大型飛行塔を新設。4人乗り8機、高さ約6米あって、日・祝には乗り場に長蛇の列が続く盛況ぶり。

53年2月10日 オラン・ウータンのピック君（オス15才）とモンちゃん（メス9才）の結婚式をあげる。柵ごしのお見合いは4年に及んだが、永すぎた春にピリオド。

3月 ミゼットポニー・マナヅル・アネハヅル・ニジキジが新着。19日から始まった、「春の動物公園まつり」では、特別展としてこども動物図書館で“世界の馬パネル展”を催し、写真のほかサラブレッドの骨格標本、各種のてい鉄、古代から現代までの馬の進化の過程の模型など100点以上を展示した。

52年10月6日～10日 パース市から贈られたユーカリの種子が県林業試験場で立派な苗に成長し、約4,000本が園内に植えられる。



世界の馬のパネル展

10月11日 パース市親善使節団（16名）の来鹿を機に、コアラ誘致運動を盛り上げるため、使節団一行を招いて動物公園内でユーカリの記念植樹を行う。コアラ誘致の第一歩となった「ユーカリの森」の誕生であった。

54年3月 ルリカケス（天然記念物・県鳥）の飼育許可がおりる。48年2月以来、文化庁、環境庁に対して許可申請をしていた。

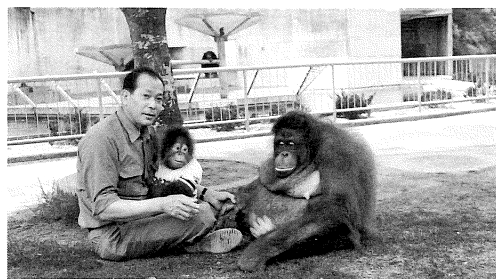


ユーカリの記念植樹

15日、奄美大島で捕獲したルリカケス6羽が新設のルリカケス舎にお目見えして、飼育下における増殖の研究をはじめ。

4月22日 ペルー国立動物園から国際親善使節として贈られたアメリカバクに赤ちゃんが誕生。「西日本では初の快挙」と大きく報じられた。

5月16日には、有料入園者が300万人を突破。開園から6年半ぶり。



育ての親と生みの親に囲まれて「公平」

6月21日 前年2月結婚式を挙げたオラン・ウータン・ピック君、モンちゃんの間、“男の子”が産まれた。ところがモンちゃんは育児経験がない為か“わが子”を気味悪がるため、人工保育をすることになり、担当の久永技師は親代りとなって、昼は動物公園、夜は自宅と朝から晩まで面倒をみて育てた。のちに「公平」と名付けられた。ある日電話

があって「公平」という名前の子供さんをもっている父親から「こどもが学校で友だちからかわれて困っている。オラン・ウータンの名まえを変えてくれ」と電話があり困惑したこともあった。「公平」は子供たちの人気を独占していた。

7月13日 ニホンツキノワグマが2頭（オス・メス）新着。同年4月ごろ、山形県の山中に子連れのクマが出没。人を襲う恐れがあったため親グマを捕獲。その際、子グマ2頭が保護された。山形県では、動物園で引き取るところはないか希望をつのっていた。平川

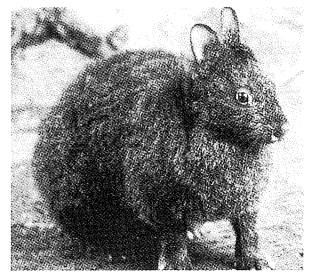
動物公園には、終戦直後から飼育していたクマの老衰ぶりが目立ってきていたので、さっそく引き取った。30年ぶりの子グマ登場であった。

8月1日 米山昇（前農林部参事・畜産課長事務取扱）園長に就任。池松園長・坂元園長ともに非常勤であったが、以降常勤の園長となる。

11月 南アフリカ産のホオカザリツル巻番が新着。世界のツル14種類のうち、9種類が揃う。

55年2月14日 インドゾウのカン子（22才）逝く。35年ドム君の先妻タイ子が死んだあと、カンボジアから鴨池動物園にやってきて、20年間親しまれていた。性質は神経質で気の荒いところがあったが、担当の小野義則技師の調教によって、くい渡り、碁盤乗り、たるところがし、ハーモニカ吹きなど、多くの芸をおぼえ、多くの観客をよろこばせた。55年はサル年でサル類の充実を行っている。4月、サイクスモンキー・ゴールドンマンガベール・シオザルなど珍種を購入。

7月16日 特別天然記念物「アマミノクロウサギ」10匹が新着。生きた化石ともいわれ、奄美大島と徳之島だけにすむ、この動物を飼育繁殖したいと、開園以来当動物公園では、文化庁、環境庁に許可を申請していた。筆者は奄美大島の現地にとび、大和村の村長さんに当方の飼育計画を話して、地元民の了解を得てもらい、適当な捕獲人を見つけることなど、さまざまな努力を払った。3月に飼育許可がおりて、捕獲に時間を要して7月ようやく到着している。飼育観察を昼夜にわたって続けた酒匂猛獣医師は、「アマミノクロウサギ」の食べ物の種類と量・排尿の時間と量・食ふん・体重・体温・交尾など詳しい記録を収集。12月、愛知県犬山モンキーセンターで開かれた、日本動物園水族館協会でその成果を発表している。



アマミノクロウサギ

9月10日 国外持ち出しが禁止されていたコアラが47年ぶりに解禁。平川動物公園では早くからコアラ誘致と取組み、ユーカリの植樹などの実績をつみあげていただけに誘致運動にはずみがつく。鹿児島市ではさっそく12日、東京事務所を通じオーストラリア大使館に要請している。

12日、インドゾウのカン子ちゃんに先立たれていたドム君の新しいお嫁さん（3度目）「パク」ちゃんが宮崎市フェニックス自然動物園からトラックで鹿児島に到着。市役所まで市長さんや小学生の歓迎をうけて動物公園へ。「パク」ちゃんは新居について間もなく放飼場の堀に落ちるハプニングがあったが、大事に至らず一同ホッとす。

56年2月13日 カナダツルひとつがいがアメリカから到着。平川動物公園が繁殖のため国際ツル財団に貸出しているソデグロツルのお礼として贈られたもの。世界の現存する14種のツルのうち10種が揃う。かねて意図していた世界のツルのコレクションが殖えて、平川動物公園の「目玉」となる。

3月20日 休憩用広場が完成。広さ6,000平方メートル。広場は全面芝張り。飼育管理事務所と猛獣舎の間にあった小高い丘を切り開いて造られた。この丘は造成前も「休養園地」として開放されていたが、傾斜が急でありあまり利用されていなかった。現在では弁当を広げる



のにかっこうの場所となってシーズンの利用が多い。

4月23日 クロサイにオスの赤ちゃん誕生。クロサイは国際保護動物に指定されていて動物園での出産記録も少なく“九州では初めの出産”と大きく報道された。大事をとって育てようとした矢先、出産の事実を新聞記者に感づかれ、報道の自由との間にたって調整に腐心した思い出がある。

6月6日 国際ツル財団のアーチボルド理事長からソデグロツルの繁殖に成功したと電報が届く。電文「4日ヒラカワ（ソデグロツルの愛称）から元気なヒナ1羽誕生。デュエシエンカと命名」試行錯誤を繰返しながら世界で初めてソデグロツルの繁殖に成功した国際ツル財団スタッフの興奮が、じかに伝わるような知らせであった。動物の国際結婚によって繁殖を成功させたことは、日本の動物園の中では、平川動物公園が初めての快挙。

6月15日 日本一の長寿動物ニホンツキノワグマ（メス）逝く。推定年令36才。日本アルプス生れで、終戦後間もない22年3月、当時の鴨池動物園にきた。戦争で動物のいなくなった園にとって初の大型動物の来園で、市民の話題を呼んだ。一緒にきたオスも前年に35才の長寿を全うしている。

11月29日 南九州の情勢視察のため来鹿した、オーストラリアのプリムソル駐日大使が山之口市長を表敬訪問した際、市長はコアラ誘致について協力を要請。同大使も積極的な協力を約束したが、既に名古屋市ではコアラ誘致のため専門家2人を派遣していると述べた。山之口市長も専門家を派遣したいと応じている。

12月2日 アメリカの野鳥保護専門家2名が環境庁の鳥獣専門官の案内でルリカケスの視察に訪れた。かねて環境庁では、学者や動物園関係者などで「特定鳥獣増殖検討会」を設け、絶滅の恐れのある鳥や獣を増殖する方針をたてていた。環境庁の委嘱を受けて同検討会に川畑純徳（動物公園次長）が委員として参加。平川動物公園はルリカケスの人工増殖を担当していた。来園したのは米国内務省野生生物局で太平洋の渡り鳥保護を研究しているジェームス・パートネック博士と絶滅寸前の野鳥増殖を研究しているジェームス・カーペンター博士で、当園の自慢のフライング・ケージではワンダフルの声をあげ、ルリカケスについては専門家らしいアドバイスをした。



アメリカ野鳥保護専門家(ルリカケス舎)

12月7日 市議会で「コアラの誘致について」個人質疑があり、山之口市長が「職員2人程度を現地に派遣、招請に本腰を入れたい」と答弁。56年中に記者2人をオーストラリアに派遣してコアラの取材をしていた南日本新聞は、57年1月1日の紙上に大々的にコアラの記事を取扱い、誘致促進のキャンペーンをはじめている。6日の南風録では「コアラを招く運動には、県民1人残らず参加していただきたい。鹿児島県選出の国会議員も、ここでは超党派で参与到でもなっただけ。カウユイ、コアラのバッジを胸に、国会に登場してもらおうとうれしい。県知事も鹿児島市長も、他の市町長、議員さんも、相携えて、熱く燃えてほしいのだ。これまで市民運動と名のつくものは、なんでも反対との響きが強く、当事者には絶対でも、他の人はソッポを向く面があった。1つぐらい行政の先取りをして、しかも、誰も

が賛成のものはないものか。コアラがあった。それにピッタリだと思う……。」とコアラ誘致に寄せるジャーナリストの意気込みが述べられている。

3月8日 市議会では、コアラ誘致の専門家の派遣など予算計上してあったので、派遣の人選や誘致の可能性、ユーカリの生育状況について質問があった。これに対し日本各地で先陣争いが起っているコアラ誘致について市長は「他都市に遅れをとってはならない。日本で最初に誘致したい」と決意を述べている。官民一体となったラブコール、コアラ誘致が次第に本格化する。3月21日、開園以来の有料入園者が400万人を超える。

4月1日 川畑純徳（前平川動物公園次長）が園長に就任。同日、曾於郡大崎町の農家からユーカリの苗2,000本の寄贈をうけ、動物公園内と鹿児島経済大学の構内に定植。

5月2日 ゴールデンウィークなど行楽シーズンのたびに繰り返されるマイカー渋滞は、開園以来の悩みであった。交通渋滞の解消のために、動物公園内の駐車場(約800台)とは別に、ゴールデンウィークの期間中混雑の予想される日は1号用地(開発事業団所有地)に臨時駐車場を設けた。臨時駐車場から動物公園までは循環バスで輸送した。その後今日に至るまで続けられ渋滞解消に役立っている。

6月16日 城山登山会(今村源一郎会長、97人)からユーカリの種子のプレゼント。この種子を育苗したものが錦江湾公園に移植され、コアラ来園のときのエサの主力となった

6月24日 特別天然記念物ナベヅルのヒナ誕生。日本で初めてフ化に成功した。両親は43年出水市荒崎で保護された6羽のうちの1つがいから生れたもの。大事をとって人工保育され、飼育にあたった酒匂猛獣医師が毎日集める200匹のバツタのほかミルウォーム100匹、卵黄、魚肉、青菜をたいらげてスクスクと成長。昭和58年に繁殖賞を受賞している。

7月31日 中国から長沙市先遣視察団、王副市长ほか3名が来園し友好を深める。



地上の巣でフ化したルリカケス

8月1日 皇太子・美智子妃・礼宮が磯庭園をご訪問。(昭和57年度全国高等学校総合体育大会で御来鹿) 筆者は磯庭園に出向いて、平川動物公園で5月上旬、日本で初めて繁殖に成功したルリカケスの営巣・フ化の状況を写真でご説明した。

8月23日 コアラの生態とユーカリの調査のため、寺下隆喜代(鹿児島大学農学部林学科教授)と梶原純一(平川動物公園獣医師)2名がオーストラリアに出発。訪問したのは、

オーストラリア博物館、タロンガ動物園、メルボルン王立動物園、ヒルスビル動物園、フィリップ島、クィンズランド州立大学、ローンパインコアラ保護区など、12日間の日程で精力的に回り大きな手がかりを得た。この時の調査報告によって、更に必要なユーカリの種類がわかった。またコアラ誘致の相手の選定にあたって参考になった。

57年10月14日 開園10周年を迎える。その一環として、9月5日から11月7日までを「秋の動物公園まつり」として行事を繰り広げた。その目玉として「パンダのはく製展」を9月12日から26日まで開き、26,988人が見学。子どもたちのアイドルであった上野動物園の「パンダ(ランラン)」のはく製を展示し同時に写真やパネルなどでパンダの姿をしのばせた。なお動物公園まつりの期間中は、動物愛護作文の募集、1日園長の任命、動物慰霊祭、子ども図書館の開館動物ぬいぐるみ撮影会、ちびっこネンド工作大会、動物写真コンクールなど多彩な行事を催している。

開園記念日の10月14日は無料入園とした。10周年の記念事業として記念誌を発行。

動物公園協会では10周年記念ポスターを2種類製作している。

# 動物公園の顔



## ◀ムササビ White-cheeked Flying Squirrel

齧歯目 リス科  
学名：Petaurista leucogenys

本州・四国・九州・朝鮮・中国に分布。  
体長33～45cm。低地から海拔2000メートルぐらいの森林にすむ。木から木へ30～180mも飛び滑空する。耳のうしろに長い毛が生え、尾が長くて、体の横やうしろあじと尾の間にまくがはっている。大木のほらですごし、夕ぐれから夜にかけて活動する。くだもの・若い枝・木の皮などを食べる。

## \* 動物公園施設案内 \*



### ▲コアラ舎

昭和59年8月20日に完成して、10月25日コアラのオス2頭が新居に入る。コアラ誘致の条件の1つであったコアラ舎はオーストラリアのコアラ専門家のアドバイスをうけて設計。面積950㎡、屋内と屋外(手前)に分かれていて普通はエアコンのきいた屋内に居るが、温暖な日は屋外に出ているコアラを見ることが出来る。

## 平川動物公園入園者の推移

(昭47.10.14～平成2.3.31)

年度	有料(人)	無料(人)	合計(人)
47.10.14)	373,485	149,394	522,879
48	551,402	220,560	771,962
49	438,977	175,590	614,567
50	409,032	163,612	572,644
51	380,992	152,396	533,388
52	359,960	143,953	503,913
53	395,929	145,955	541,884
54	380,256	139,948	520,204
55	360,917	137,916	498,833
56	373,841	151,098	524,939
57	369,866	152,315	522,181
58	355,668	138,210	493,878
59	628,590	196,733	825,323
60	701,154	205,959	907,113
61	547,745	175,335	723,080
62	502,917	164,594	667,511
63	477,324	171,052	648,376
平元	439,335	160,737	600,072
合計	8,047,390	2,945,357	10,992,747

### 表紙題字

鹿児島市長 赤崎義則

ひらかわ No29 平成2年12月1日発行 第29号  
発行所 (財)鹿児島市動物公園協会  
〒891-01 鹿児島市平川町5669-1 ☎0992(61)2326-8  
発行者 鹿児島市動物公園協会理事長 赤崎義則  
編集者 鹿児島市平川動物公園長 丹下克郎

撮影：酒匂 猛・山口成昭